

# (仮称) 中紀第二ウィンドファーム事業に係る計画段階環境配慮書について

## 事業者の名称

事業名称 (仮称) 中紀第二ウィンドファーム事業  
 事業主体 エコ・パワー株式会社  
 所在地 東京都品川区大崎一丁目6番1号  
 TOC大崎ビルディング

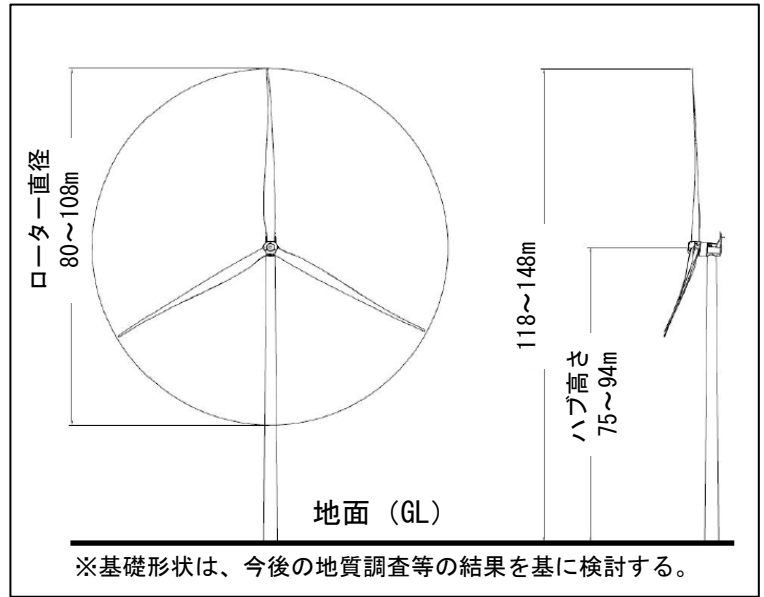
## 本事業の内容

- 種類：風力（陸上）
- 発電所の出力：51,000kW（最大）  
 （2,000～3,400kW級を最大15基）
- 実施区域：有田川町（金屋地域）、日高川町（旧中津村、旧美山村地域）に接する白馬山脈の行政界付近（裏面参照）
- 運転開始時期（予定）：平成34年以降

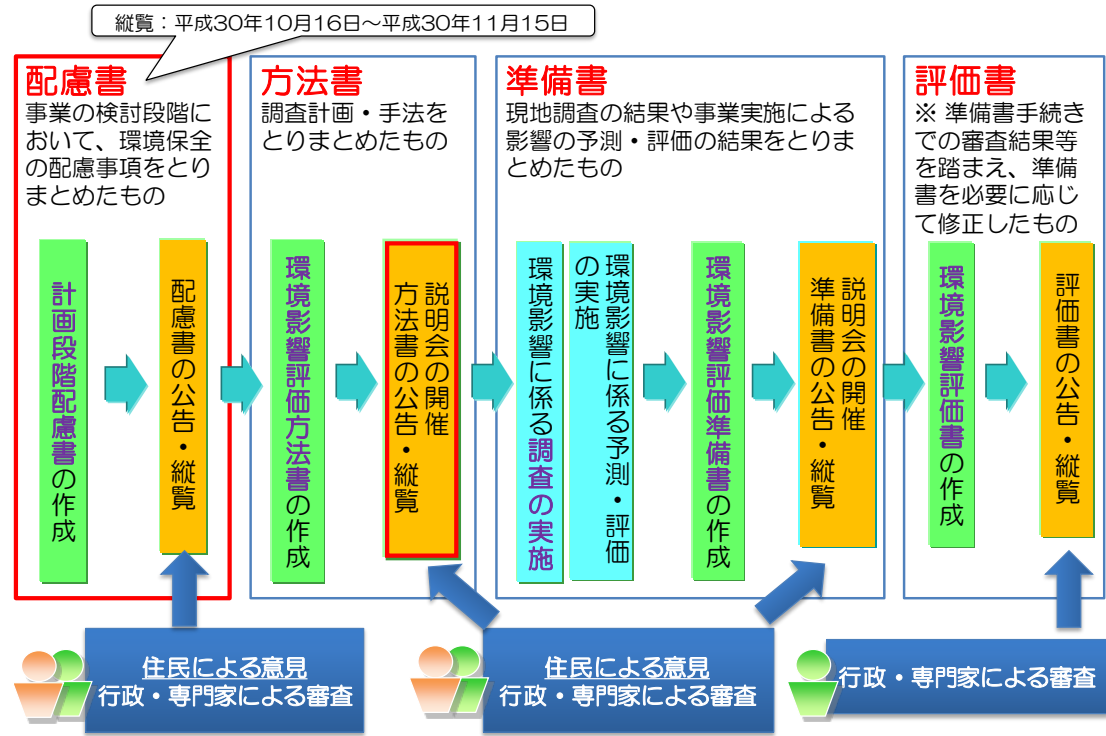
## 事業の目的

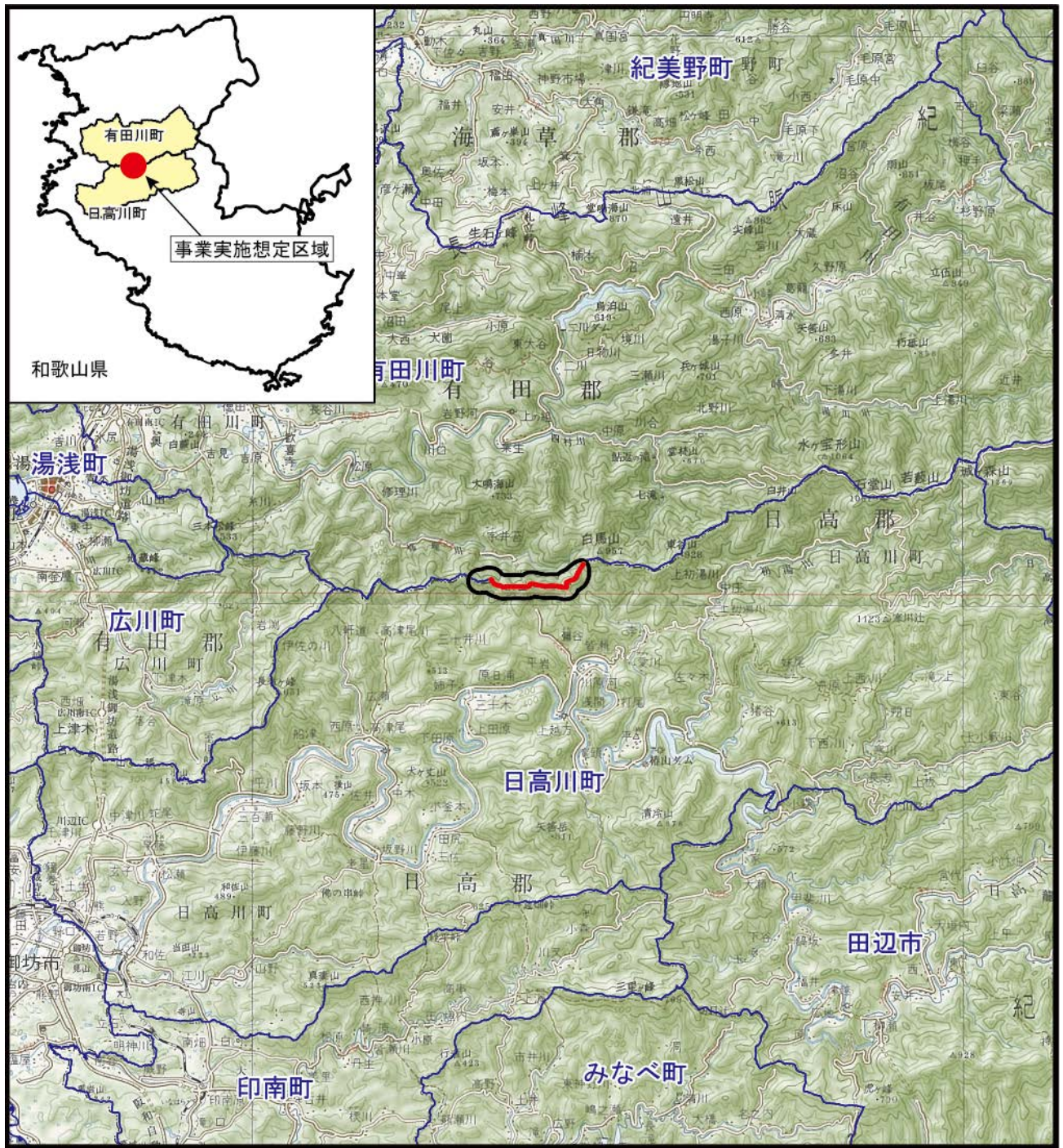
我が国では、東日本大震災以降、再生可能エネルギーの更なる拡大に向けて、固定価格買取制度（FIT制度）が施行され、現在の導入量拡大に寄与している。また、平成30年7月にはエネルギー基本計画が閣議決定され、再生可能エネルギーはエネルギー安全保障にも寄与できる重要な低炭素の国産エネルギーとして積極的に推進していく方針が確認されている。なかでも風力発電は、導入加速に向けた取り組みの強化がなされている。

本事業は、弊社にて建設中の中紀ウィンドファーム事業の隣接エリアであり、和歌山県有田川町・日高川町の町境に位置する白馬山脈沿い尾根の一部において複数の風力発電機の設置を行い、風力エネルギーによるクリーンな電気を発電し、その発生電力を売電する事業である。また、風力発電事業を通じて地域の活性化への貢献と、地域との共生を目指して取り組むものである。



## 環境影響評価の手続き





- 【凡例】
- : 事業実施想定区域
  - : 風力発施設の設置予定範囲

## 以下、配慮書より抜粋

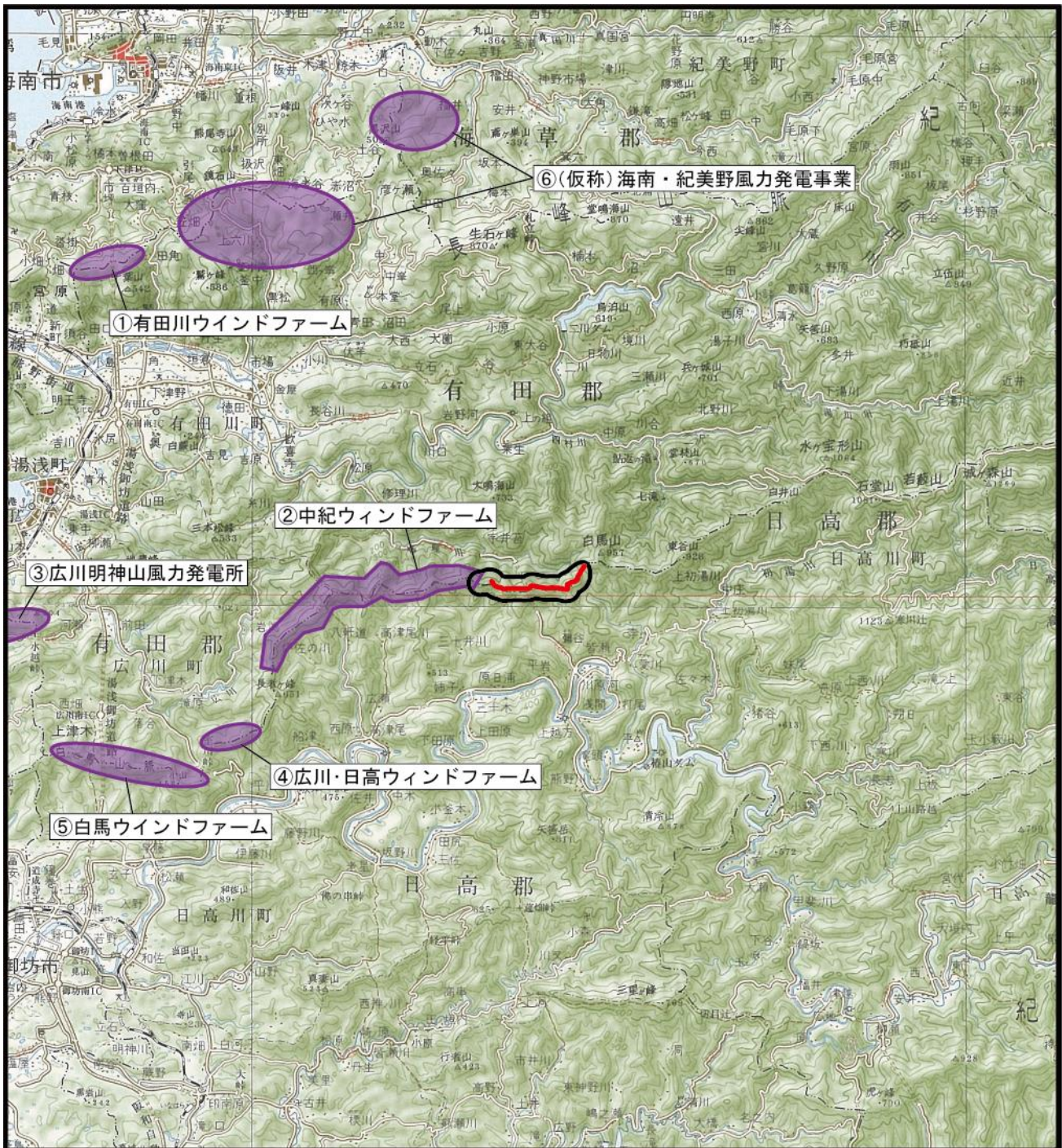
### 2.2.8 その他の事項

#### 1. 事業実施想定区域及びその周囲における他事業

事業実施想定区域周囲における他事業は、第 2.2-4 表及び第 2.2-18 図のとおりであり、稼働中、建設中及び計画中の事業が 6 件存在する。

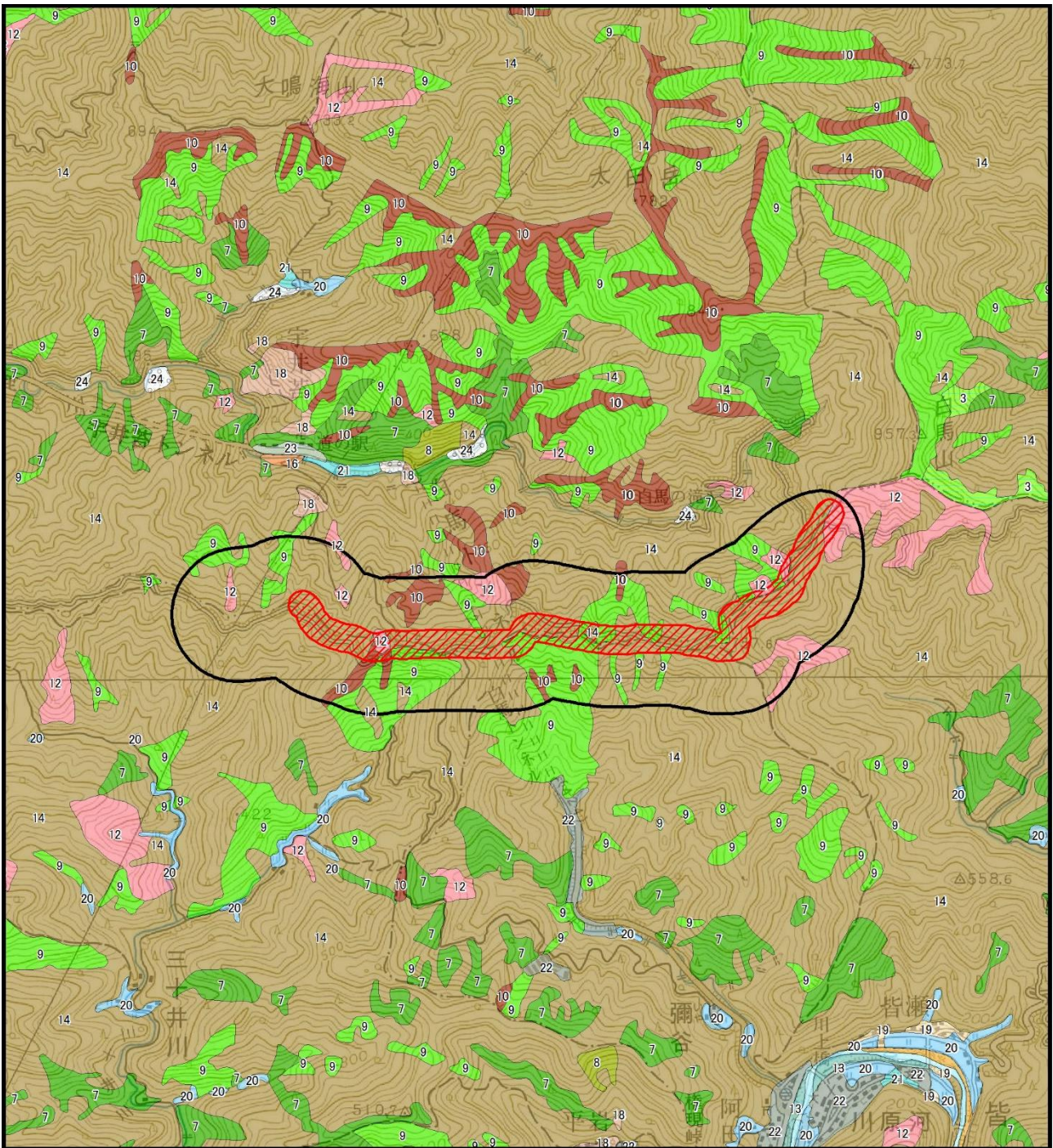
第 2.2-4 表 事業実施想定区域及びその周囲における他事業

事業名	事業者名	発電所出力	備考
1 有田川ウィンドファーム	株式会社ユーラスエナジー有田川	13,000kW (1,300kW×10 基)	・稼働中 ・運転開始：平成 21 年 4 月
2 中紀ウィンドファーム	エコ・パワー株式会社	48,300kW (2,100kW×23 基)	・建設中
3 広川明神山風力発電所	株式会社広川明神山風力発電所	16,000kW (1,000kW×16 基)	・稼働中 ・運転開始：平成 20 年 11 月
4 広川・日高川ウィンドファーム	エコ・パワー株式会社	20,000kW (2,000kW×10 基)	・稼働中 ・運転開始：平成 26 年 11 月
5 白馬ウィンドファーム	白馬ウィンドファーム株式会社	30,000kW (1,500kW×20 基)	・稼働中 ・運転開始：平成 20 年 12 月
6 (仮称) 海南・紀美野風力発電事業	合同会社 NWE-03 インベストメント	最大 54,000kW 程度 (4,500kW×15 基程度)	・計画中



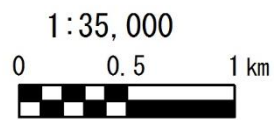
<b>凡 例</b>		1:200,000		
	事業実施想定区域			
	風力発電施設の設置予定範囲			
	他事業による風力発電所（建設中、計画中含む）			

第 2.2-18 図 事業実施想定区域及びその周囲における他事業



凡 例

- 事業実施想定区域
- ▨ 風力発電施設の設置予定範囲



「第 6～7 回自然環境保全基礎調査（植生調査）」  
 1/25,000 植生図「金屋」、「紀伊清水」、「川原河」、  
 「寒川」（平成 12 年度調査）の GIS データ（環境省  
 HP、閲覧：平成 30 年 8 月）  
 より作成

※植生図の凡例は第 3.1-23 表のとおりである。

第 3.1-24 図(2) 現存植生図（拡大）

第 3.1-23 表 現存植生図(凡例)

植生区分	図中No.	凡例名	統一凡例No.	
ブナクラス域自然植生	1	コカンスゲーツガ群集	140601	
	2	落葉広葉樹二次林	220000	
		3*	アカシデーイヌシデ群落 (V)	220700
		4	伐採跡地群落 (V)	260000
ヤブツバキクラス域自然植生	5	カナメモチーコジイ群集	271102	
	6	アカマツ群落 (VI)	290100	
ヤブツバキクラス域代償植生	7*	シイ・カシ二次林	400100	
	8*	ウバメガシ二次林	400600	
	9*	アベマキーコナラ群集	410105	
	10*	モチツツジーアカマツ群集	420102	
	11	メダケ群落	430200	
	12*	伐採跡地群落 (VII)	460000	
河辺・湿原・沼沢地・砂丘植生	13*	ツルヨシ群集	470501	
植林地・耕作地植生	14*	スギ・ヒノキ・サワラ植林	540100	
	15	アカマツ植林	540200	
	16*	竹林	550000	
	17	路傍・空地雑草群落	570100	
	18*	果樹園	570200	
	19*	畑雑草群落	570300	
	20*	水田雑草群落	570400	
	21	放棄水田雑草群落	570500	
	市街地等	22*	市街地	580100
23		緑の多い住宅地	580101	
24*		造成地	580400	
25		開放水域	580600	
26		自然裸地	580700	

注：1. 図中 No.は第 3.1-24 図の現存植生図内の番号に対応する。また、※は第 3.1-24 図 (2) の拡大図に含まれる番号である。

2. 統一凡例 No.とは、「生物多様性情報システム自然環境保全基礎調査 植生調査(植生自然度調査)」(環境省 HP、閲覧：平成 30 年 8 月)の 1/25,000 に示される 6 桁の統一凡例番号(凡例コード)である。